

令和4年度 第3回学校運営協議会 記録

日 時 令和5年2月6日(月) 10:00~12:00

場 所 本校会議室

出席者 学校運営協議会委員(5名 A 委員:私立大学教授、B 委員:障がい者就業・生活支援センター所長、C 委員:株式会社緑化推進部部长、D 委員:吹田市立就学前施設園長、E 委員:本校 PTA 委員副会長)、校長、事務局(6名)

※運営委員の吹田市立中学校校長はご欠席

1 校長挨拶

3回目の運営協議会にお越しいただきましてありがとうございます。本日は令和4年度の報告と次年度の教育計画について御協議いただきます。ぜひ来年度につながるご意見をいただきたく存じます。

2 資料の確認 <略>

3 高等部の授業見学

高等部選択授業「社会基礎」 単元名「社会実践力を身につける」 生徒 7人

ねらい： 個別の課題に応じた「コグトレ」に決められた時間集中して取り組む。

ビジネスマナーについて学習し、仕事への意識を高める。

4 報告 ～配付資料に沿って説明～

<令和4年度学校経営計画、評価（案）について >

<令和5年度学校経営計画（案）について>

- ・以下、令和4年度からの変更点等
 - ・4年度の反省を踏まえ、「めざす学校像」に修正を加える
 - ・「中期的目標」について、目標の4として「働き方改革」の項目を記載する
- ・取り組み内容の特記事項
 - ・医療的ケア
 - ・通学バス利用時の安全対策
 - ・働き方改革の具体的取り組み（8項目）

<令和4年度進路状況報告について>

<学校教育自己診断アンケート（学校評価）について>

<「キャリア発達段階に応じた新たな学部間連携授業」状況報告について>

5 協議（進行は会長のA委員）

A委員 委員の皆様、次年度につなげていきますよう、率直なご意見をいただければと思います

B 委員 自己診断アンケートについてですが、進路のことについての項目は小学部の子どもはイメージが持ちにくいかと思いました。

次に本年度の取り組みの自己評価○△については、89点でも○にはならないとのこととちょっと厳しいかと思いました。例えば、◎できている、○できているがよりできる工夫を、△努力としてとするなど。

「教員のストレス」については、校内フォロー体制はどうかかなと思うこともあります。新年度中期的目標、「4働きかた方改革」のことについては、うちの職場でも同じ。金曜日に一斉退勤日を設定するとのことだが、残業でやっと仕事をこなしている者にとっては逆に不満を抱える危険性も。個別フォローが必要と思います。

C 委員 まず、授業参観の感想を。生徒のみなさんよく頑張っていますね。また、先生が生徒さんへの肯定感を大事にしているのが伝わってきました。参観者の前での発表は緊張すると思いますが、その中で自分の気持ちを言えるのはいいことだし、そのような指導をされてきたのだなと感銘を受けた。教員のストレスは、働き方もそうだが、やりがいか、保護者対応などその原因は多岐にわたる。いっぺんに解決するのは難しい。また、職場が理由、個人の理由ということもあるので分析が大切だと思います。

D 委員 働き方改革については、効率化のためのマニュアルづくり・会議に時間を取られて逆にストレスというようになっていないかかなと思うことがあります。ちなみに、ペーパーレス化はどんな感じでしょうか？また、進路状況を見ると、将来に向けて丁寧な対応を授業等でしていると思いました。具体的にどう進路を決めていくのか教えてもらえたらありがたいです。

E 委員 参観から、生徒指導はものすごく毎日大変だなあとということを思いました。子どもの障がいの程度、重度の子もいれば軽度の子もいる、という教室の状況から見ると、そのどちらにも先生は対応しなければいけません、指導の「方向性」が全く違う。保護者の要望も違うということもあるでしょうし、ものすごいストレスを感じておられるなあと思いました。

来年の課題で挙げられていた通学バスでの災害訓練をぜひ早い時期にやってほしいと思いました。

A 委員 自己診断アンケートについてグーグルフォームを活用すると、操作に慣れないということもあって回収率は一旦下がるということもある。その上で、学校の状況によって回収率アップのために個別の対応は必要かと思います。また、一方で教員100%は当たり前とも思われる。なぜ100%にならないか具体的な理由は何か掴んでいますか？

教頭 年度途中で教員の異動があり、回収ができなかったケースがありました。

事務局 教員によっては「送信したつもり（回答したつもり）」というのものもある。操作ミスが原因で下がるということが考えられます。

A 委員 教員のストレスについてはどうですか？一斉退勤日も決めたとのことですが、どうでしょうか？

事務局 他の曜日に仕事が回るということだけかもしれないが、とりあえずやってみようということを取り組んでいる。やってみてどうかというのを反省であげ検討するのが今後の課題だと思います。

A 委員 小学部の頃からのキャリア・進路指導ということではどうですか？

進路 身近なところから、小中高とつながる姿をステップとしてまず見せるということが大切かと思います。

A 委員 先輩保護者から話を聞くという活動も有効かと思います。いろいろとご質問やご意見が出ましたがいかがですか？

校長 ○△による評価は府で決められた基準となります。項目の中身をみていきたいと思っています。ペーパーレス化については、学年便りなどのアプリによる配信を実施予定です。写真がカラーになるメリットもありますし、欠席連絡での活用をより多くお願いしていきたいと思います。進路決定については進路担当からお願いします。

進路 ニーズを踏まえつつ方向性を決め、段階を追って決定しております。

校長 学部間交流については、学び合いのイメージはできるようになったかなと思います。定着は今後の課題です。

A 委員 新しい取り組みである「わかば交流」をぜひ発展的に取り組んでいってほしいです。委員の皆様、他にご意見はありますか。

B 委員 進路の話についてです。小学部の子どもがイメージをどうすればしやすくなるかという点ですが、いろいろな経験をしてもらうことが必要では。キッザニアにまでは行かなくても、地域の仕事の話聞く経験ができればイメージを持ちやすい。福祉サービス体験というのあればいいかと思います。

A 委員 いろいろな形・工夫でのキャリア教育を進めていくということを今後もお願いします。合わせて、日々の授業でもお願いできたらと思います。次年度も活力ある吹田支援学校めざして、頑張っているだけたらと思います。

以上で協議を終わります。

6 本日のまとめと挨拶

校長 ありがとうございます。次年度の計画については、今日のご意見を踏まえ改めて整理をいたします。マンパワーにだけ頼るのでなく、保護者のご理解もいただきながら、いわゆるサービス面を整理しつつ、子どもの指導に集中できる環境づくりを図っていきたいと考えています。

1年間ありがとうございます。

7 事務連絡・閉会

以上